生徒心得

生徒心得は、学校社会の秩序を維持し、学校生活を楽しく明るくするためにある。生徒はこれを守り、本校生徒としての高い誇りと自覚にもとづいて良識ある学校生活を送るように、心がけよう。

(1) 学 習

1. 学習を学校生活の第一義と心得、知識や技能の修得にとどまらず進んで教養を高め、すぐれた人間性を養うように努めること。
2. 予習と復習を自発的かつ着実に行うこと。

(2) 礼 儀

1. はつらつとした気風の中にも礼儀をわきまえ、なごやかで節度のある態度や行動をとること。
2. 人には常に敬愛をもって接し、すすんで挨拶すること。
3. 他人に迷惑や不快な感じを与えるような言動は慎むこと。

(3) 校内生活

1. 規律を重んじ秩序のある学校生活を送ること。
2. 学校を欠席・遅刻する場合は、必ず保護者から学校に電話等で連絡すること。
3. 始業時より放課後までは、無断の外出又は早退は認めない。やむを得ない場合は、ホーム主任の許可を得ること。
4. 学校生活上不必要なものは、持参しないこと。
5. 所持品には必ず記名し、盗難や紛失等に留意すること。

(4) 校外生活

1. 外出する時は、必ず生徒証明書を携帯すること。
2. 外泊は必ず保護者の許可を受けること。
3. 夜間の外出は、午後10時までとする。

4. パチンコ店等の不健全な場所への出入りは禁止する。
5. 旅行等で学生割引証を必要とする場合は、事務室で手続きを行うこと。

(5) 校 友

1. 互いに信義を重んじ、励まし合って教養や人格の向上に努めること。
2. 人間平等の精神にたち、互いに人格を認め合い、その美点を学び合うこと。
3. 男女の交際は礼節を守り責任を自覚した行動をとること。

(6) 保健衛生

1. 身体の清潔に留意し、すすんで健康増進に努めること。
2. 衣服は常に清潔かつ端正であること。
3. 校舎内外の清掃には積極的に取り組むこと。

(7) 休暇中の注意

1. 学習と健康増進に計画性を持たせ、日常生活が不規則にならないように心がけること。
2. アルバイトをする時は、働くことの意義や目的を自覚し、保護者やホーム主任に相談し、承諾を得たうえでアルバイト届を生徒指導部へ提出すること。

(ア) 原則として長期休暇中のみとする。

(イ) 深夜の仕事、不健全な場所、危険をとまなうアルバイトは禁止する。

(8) 運転免許取得並びに通学

1. バイク免許（原付）取得

県下高校PTA連絡協議会並びに県高校生活指導連絡研究協議会の申し合わせ通り、原則としては許可しない。しかし、本校は交通の便等を考慮し次のように許可する。

(ア) 免許の取得は、所定の手続きにより学校長の許可を得ること。

(免許取得説明会を行ない許可をする)

(イ) 免許の取得は、一年生は誕生月の次の長期休暇中前の説明会に保護者同伴で

の出席を条件に許可する。

(ウ) 免許の取得は、登下校の通学用としてのみ認めるものである。

2. 普通免許取得

(ア) 免許の取得は、所定の手続きにより学校長の許可を得ること。

(イ) 最終学年の二学期中間考査終了後、以下の条件を満たす者に入校を認める。

①卒業見込みの者。

②就職・進学で普通免許取得が必要な者。

(ウ) 卒業式前に免許を取得した場合は、速やかに学校に連絡すること。

(エ) 卒業見込みの立たない者は、自動車学校への通学を認めない。

3. バイク通学

(ア) 免許取得の条件を満たし、学校長の許可を得た者とする。

(イ) バイクはスクータータイプとし、登下校の通学手段のみ使用すること。

(ウ) ヘルメットは白色のフルフェイスとし、シールドは透明とする。

(エ) 道路交通法を厳守すると共に、違反行為（目的外使用等）については厳重に指導する。

(9) 交通安全

1. 道路交通法を守り、安全運転に心がけること。
2. 並列運転・二人乗り・傘さし運転など危険な行為をしてはならない。
3. 自転車や原付バイクの貸借は禁止する。
4. 自転車通学においてはヘルメット着用を推奨する。
5. 所定の場所に正しく置き、施錠を忘れないこと。

(10) 服装

1. 本校生徒は、この規定による服装とし、清潔・端正・質素の風を身につけるように努めること。
2. 男女とも制服は学校指定のものとする。

3. なお、本人より申し出があった場合は、この規定の（男女別に関わらず）内容を総合して適用するものとする。

4. 他の服装

別に定める服装規定に従う。

5. 頭髪

染色・脱色・パーマ・アクセサリ等、頭髪を加工することを禁止する。